



● チェントロ・ストゥーディ・イタリアーニとは

チェントロ・ストゥーディ・イタリアーニは1985年ウルバーニア(イタリア中部、ペーザロ・エ・ウルビーノ県)に創立。マルケ州とアドリア海沿岸地域で初の外国人向けのイタリア語とイタリア文化を教える学校で、創立以来121の国々から15,000人以上の外国人受講生を受け入れてきました。同校は、様々な年齢、レベルの生徒に講座を提供し、また有名なイタリア語検定試験CELI(チェリ、ペルージャ外国人大学実施)とPLIDA(プリーダ、ダンテ・アリギエーリ協会実施)の試験会場にもなっています。コースは融通がきいて、様々で、受講生のレベルや個別要求にも対応しているため、コース毎に特徴があります。クラスも少人数制を導入しているので、受講生同士が意見を交換したり、一人一人が発言、質問したりできるので、講師も受講生一人一人に注意を注ぎ、クラスに適したレッスンが行えます。チェントロ・ストゥーディ・イタリアーニは、著名な大学、アカデミー、音楽院と提携し、料理、芸術、陶器、ダンス、オペラの集中講座も開設し、年々発展してきました。

外国人声楽家のためのオペラプログラムは1987年にスタートして、当初から世界の最高と称される音楽院と提携を始めました。少し例をあげると、オーバリンカレッジ(アメリカ合衆国、オーバリン)、マンハッタン音楽学校(アメリカ合衆国、ニューヨーク)、イーストマン音楽学校(アメリカ合衆国、ロチェスター)、北京の中国音楽学院(中国、北京)などの音楽院です。プログラムはイタリア語の学習に、総譜の復習個人レッスンと、イタリアオペラをイタリア人講師と一緒に深め極めるレッスンを組み合わせて構成されており、特に正確な解釈、発音、伝統的な言い回し、フレーズといった内容に注意を払います。学んだことを更に豊かに完成させるために、マスタークラスやワークショップ、会議を開いてプレゼンテーションやディスカッションしたり、さらにマルケ州や中部イタリアの最も素晴らしい劇場でコンサート方式で発表会を行ったりします。毎年企画されるすべてのコンサート及び音楽イベントは若い歌手や楽器演奏者のために、チェントロ・ストゥーディ・イタリアーニ・オペラ・フェスティバル自らが企画・実施しています。コースが終了すると留学生全員に修了証書をお渡しします。

校長
ジョバンニ・エリック・パゾット



● 市長あいさつ

我がウルバーニアで皆さんをお迎えし、お互い知り合いうこと、またウルバーニアという街と市民の中に入り、適応しながら、経験し交流し共に時を過ごすことができるのはとても嬉しいことです。お客様が我が家のようにくつろいでくださること、ウルバーニアの観光名所や素晴らしい文化を知っていただくことが、我々市民の喜びです。伝統とともに文化的な特徴は、日常生活の色々な重要な場面できっと皆さんの目にとまるでしょうし、伝統的な料理の気の利いた品々を食べていただいても分かっていたでしょう。お待ちしております。

ウルバーニア市長
マルコ・チッコリーニ



● 講師からのメッセージ

オペラ(別名メロドラマ)・・・この比類なき独創的な芸術形式に使われている“イタリア語”にこのプロジェクトは焦点を当てています。良い発声テクニックと正確かつきれいなイタリア語の発音は、バロックからヴェリズモに至るイタリアオペラから切り離すことはできません。偉大なイタリアオペラの素晴らしい演奏には、良い発声とイタリア語のきれいな音の一つになって現れるというメカニズムがあります。練習しながらこのメカニズムを発見することこそが、このプロジェクトの目標なのです。最も注目すべきことはレチタティーヴォの練習です。オーケストラでの伴奏があるなしにかかわらず、音楽と言葉との関係の中で究極の表現方法が必要なのがこのレチタティーヴォです。レパートリーは1750年代のモーツァルト(イタリア語上演演目)から1900年代初期のプッチーニに至るまで、加えてイタリア歌曲など。留学生の皆さんは様々な問題に取り組むことになります。いくつかのスタイル、発声技術、パフォーマンス、昔からの伝統表現や言い回し、現代の新しい解釈傾向、その他基礎項目など。これら全てがオペラ界のプロを目指す若者教育に必要なものです。

(by ピアニスト・ヴォーカルコーチ:ジュリオ・ザッパ)

「芸術的な声」というものがどれだけ素晴らしく、心が満たされ、感動に震えるものであるか、そして正しい発音だからこそ成せる真の表現はどのようにして作り上げられるのか。それらを皆様にとって頂きたいがために日々努力し歌い続けています。そしてこれまでの私の経験が、素晴らしい歌を歌うことを切望し、悩みながらもその夢を諦め切れない若い歌手たちの助けになる事を願い、ベルカント唱法と心の底から表現する方法を伝授しながら、彼らが、自らの真の歌声に気づき、その歌声が自分自身のみならず観客にも湧き起こす本当の感動を味わってくれることを切に願っています。国境を問わずそれが私の夢であり、このオペラ研究所で伝えていきたい事です。

(by ソプラノ歌手:加地早苗)